



# 遠藤れい子ひまわりレポート



○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3丁目1-3 ☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443  
○県議会執務室 〒950-0965 新潟市中央区新光町4-1 県議会内 ☎025-280-5475

—12月15日連合委員会で、遠藤れい子県議は4つの課題について花角知事に質問しました—

## 加齢 難聴への補聴器支援に前向き答弁!

県民の声を代弁し  
連合委員会で質問



12月15日、連合委員会で質問する遠藤れい子県議

### 原発問題は技術委員会で しっかりと確認を

#### 遠藤れい子県議の質問

柏崎刈羽原発のID不正使用問題や核物質防護問題の原因と責任の解明、万全な事後対策について、東京電力及び原子力規制委員会の調査の節々で県技術委員会として報告を受け、確認するよう強く求めたい。

#### 花角知事の答弁

一連の不適切事案に対する対応は、引き続き技術委員会を確認していく。

#### 遠藤質問

直径1.8メートルもの太い杭が激しく損傷したまま14年以上も放置されていたこと自体驚きである。その原因究明と対策が講じられるよう東電と規制委員会に強く求めている

#### 知事答弁

6号機の大物搬入建屋における杭の損傷について、県は東電に原因究明と対策をしっかりとるよう要請し、東電は調査している。また、規制委員会は今後、設計・工事計画の審査の中で確認していくと聞いている。これらの結果を技術委員会を確認していく。

### ジェンダー平等の推進を

#### 遠藤質問

「第4次新潟県男女共同参画計画(男女平等推進プラン)素案」では、「ジェンダー平等の推進」やLGBTQ等の性的マイノリティに配慮した施策の推進など、まだ不十分の印象を受ける。ジェンダーギャップ指数が高い新潟県において、多様性を尊重する環境を整備していくための対策に本格的に踏み出すべき。

#### 知事答弁

4次計画素案では「多様性を尊重する環境の整備」を新たに加え、性的指向・性自認を理由とする偏見や差別の解消について記述した。

### 病床削減の地域医療再編は問題。医師確保対策を

#### 遠藤質問

本県の医療資源は人口当たり医師数、病床数、ICUなどの指標で全国ワーストクラスだ。新型コロナウイルスの経験を通じてその脆弱性に県民の不安は一層高まっている。そうした下で全国に先駆けて病床削減を含めた地域医療の再編を進めているのは問題である。医師確保対策に全力で取り組むことではないか。

#### 知事答弁

新型コロナウイルス対応を行う中で、地域の中核病院の重要性が明らかになった。ICUに従事する医師

### 補聴器購入に公的支援を

#### 遠藤質問

動脈硬化等で加齢性難聴となった高齢者にとっては、補聴器の使用は社会参加に不可欠である。県内でも市町村による補聴器の公的補助制度が広がっている。県として支援制度を創設すべきではないか。

#### 知事答弁

難聴者に対して補聴器は聞こえが改善し社会参加が一層可能となるという指摘もある一方、機器の調整が難しく継続的な使用が難しいの声も聞く。国は認知症予防に有効かの研究をしている。支援を開始した県内市町村の状況も確認し、必要な対応をとっていく。



12月15日、連合委員会で答弁する花角知事

この答弁について、12月16日の地元紙が「補聴器の補助検討：知事「必要な対応取る」と報じました。